

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館 7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin g.com/>



被災地では仮設住宅の建設後も、NPO法人や建材メーカーによるボランティア支援による建設の輪が広がっている。7月27日に宮城県大崎市で、7月28日に岩手県釜石市箱崎町で、(宮城県大崎市)にてDIY復興ドームを建設した。DIY復興ドームは、NPO法人いわふね地域エコセンター

木造でも建設すすむ 応急仮設住宅6万戸



による5基の寄附。うち3基は、宮城県を拠点に支援活動しているオンザロードにの食料品倉庫に。2基は岩手県釜石市市役所の漁業倉庫・消防倉庫に提供した。復興ドームの製造元であるテツヤジャパン(兵庫県神戸市)によると今回のボランティア支援は、今年の5月に続き2度目とのこ



と。輸入合板業を営む同社では被災地に合板を提供したり、曲げに強いロシア白樺合板の特性を活かしたDIY復興ドームを開発・製造して被災地に提供している。組立てにあたっては、土台は、90mm角材を3本ならべ両端に45mm根太を配置し水平をとる。エコバーチ合板6・5mmを9枚接合していく。45×36の角材を使用。ビスはステンレス製の38mm仕様。屋根と根太を固定するため75mmのビスを打ち込む。そして、両左右にエコバーチ6・5mmを支えように入れ、ドームの形状を確認する。